

市街地などに出没する「ハナレザル」について

- ニホンザルは、本来群れて生活しますが、オスザルは成長すると生まれた群れを離れ、広いエリアを遊動することがあります。このような「ハナレザル」は、群れで行動するサルとは違い、どこにでも出没する傾向があります。
- ハナレザルが市街地に出没した場合は、次のことを守り、被害に遭わないように注意をしてください。

1 サルに近づかない。

野生のサルは、ペットではありません。むやみに近づくと襲われることがあるので注意してください。

2 エサをやらない、食べ物を見せない。

サルは食べ物を目当てにやってくるがありますが、野生のサルは、エサを取る時に引っかいたり、噛みついたりすることがあるので危険です。

このため、サルが近くにやっても食べ物を見せたり、エサを与えないでください。また、軒下やベランダに食べ物を放置しないでください。

3 サルを刺激しない。

大声を出したり、大きな音を立てることは、サルを刺激し興奮させる恐れがあります。

4 サルの目を直視しない。

サルの目を直視すると、サルは威嚇されたと思い攻撃してくることがあります。

5 家の中に入られないように注意する。

夏場、網戸を使用する場合は気をつけてください。